



2024年4月採用

現在(2024年6月)、税務大学校和光校舎で
研修を受けている研修生に、
研修生活についてインタビューしてみました。



Q1 研修所での勉強はどうですか？

個人的には大変でしたが、頑張って乗り切ることができました。テスト期間の土日のどちらか1日は勉強してました。



新しいことを学ぶので、新鮮ですし楽しいです。同期とはお互いを高め合うイメージで勉強に励んでいます。



Q2 簿記の勉強は大変ですか？

私自身は簿記2級を取得していたため、比較的スムーズに勉強ができました。班のみんなで助け合いながら乗り越えました。



私自身は講義より先に簿記の勉強を進めていたので、大変ではありませんでしたが、周りは苦戦している人が多くいた印象です。



Q3 研修生活で苦労していることは？



同期と切磋琢磨しながら勉強したことです。
あと、局代(※)だったので、みんなを取りまとめるのに苦労しました(笑)

※「局代」とは局代表の略で、広島国税局研修生を代表する研修生のことです。

同時に複数の税法を学ぶため、どの知識がどの税法のことかわからなくなるときがありました。ただ、試験に向けて勉強することで知識が定着しました。





Q4 研修が始まるまでにやっておけば良かったことはありますか？

税務署でアルバイトをして経験を積んでおけば良かったです。あと、大学時代に貯金しておけば良かったです（笑）



大学生で時間があるうちに簿記2級を取得しておけば、もっと勉強が楽だったかなと思います。

Q5 学寮生活はどうですか？



部屋が思っていたよりも広く、1人の空間もあり、過ごしやすいです。あと、よく同期が部屋に遊びに来るので、同期との仲が深まりました。



一人暮らしをしていたので、生活に大きな変化はありませんでした。あと、同じフロアにいる大阪局の研修生とも仲良くなって良かったです。





Q6 同期との3カ月の生活はどうか？

同期との仲も深まり、3カ月があっという間で、充実した日々を過ごしました。



同じ局の同期だけでなく、他局の同期とも仲良くなれて、とても楽しいです。人に臆せず話しかけたのが良かったのだと思います。

Q7 課業時間後や土日は何をして過ごしていますか？



同期で東京に遊びに行ったり、飲み会をして交流を深めていました。



課業時間後は教室に残って夜遅くまで勉強する日が多かったです。その分、土日は東京に出かけて観光やショッピングをしていました。





Q8 配属先の税務署や事務系統（※）を聞いたときは、どうでしたか？

※「事務系統」とは、税法ごとの事務の区分であり、個人、資産、法人、徴収などがあります。

新しい配属先と事務系統が決まり、新天地で頑張りたいという気持ちが強まりました。



概ね希望が通っており、嬉しく思いました。事務系統が決まったことで、専門の税法をより一層学習しようというやる気が出ました。



Q9 現場にもうすぐ出ますが、今どのように感じていますか？



楽しみという気持ちと、知らないことが多いので、調査先でちゃんと話ができるかという不安があります。



怖い人に出会ったらどうしようって（笑）



インタビューありがとうございました。
みんなが楽しそうに研修を受けている姿を見ることができました。

班別に授業をしている風景も撮ってきました。
こちらの写真では、事例をとおしてグループで討議・発表をしています。



班別で討議中



グループで検討中



発表中

別の班の授業風景も撮ってきました。
こちらの写真は、研修生が納税者と税務職員となって、
模擬税務署を行っている風景です。



「これは医療費控除できますか？」

模擬税務署で申告相談①



「いや～そこをなんとか」「無理です」

模擬税務署で申告相談②



教授の熱い講義

最後までご覧いただき、ありがとうございました。